



Nipponham Group
たんぱく質を、もっと自由に。



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月1日

上場会社名 日本ハム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2282 URL http://www.nipponham.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 井川 伸久
 問合せ先責任者（役職名） 経理財務部長（氏名） 泉 聡 (TEL) 06-7525-3042
 四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け説明会)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		事業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	997,957	3.7	41,545	68.0	43,681	60.6	31,081	59.6	29,520	53.6	37,647	58.3
2023年3月期第3四半期	962,609	—	24,725	△44.0	27,206	—	19,473	△47.1	19,219	△47.7	23,776	△34.9
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2024年3月期第3四半期	287.80		287.80									
2023年3月期第3四半期	187.70		187.68									

(注) 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

(注) 前第4四半期連結会計期間より、Breeders & Packers Uruguay S.A.（以下、「BPU」）に関連する牛肉事業を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの四半期利益（△損失）は、要約四半期連結損益計算書上、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上高、税引前四半期利益は、継続事業の金額を表示しております。なお、対応する2023年3月期第3四半期についても同様に組替えて表示しているため、これらの対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	957,219	529,918	518,123	54.1
2023年3月期	937,155	502,781	492,913	52.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	110.00	110.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	112.00	112.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		事業利益		税引前当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300,000	3.2	45,000	75.8	40,000	80.5	27,000	62.3	263.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

最近の業績動向を踏まえ、2024年3月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日2024年2月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) Breeders & Packers Uruguay S. A.

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	102,958,904株	2023年3月期	102,958,904株
------------	--------------	----------	--------------

- ② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	339,839株	2023年3月期	454,459株
------------	----------	----------	----------

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期3Q	102,569,539株	2023年3月期3Q	102,394,193株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数には、役員向け業績連動型株式報酬制度の導入により採用した役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2024年3月期3Q 123,968株、2023年3月期 131,403株) が含まれており、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。また、信託型従業員持株インセンティブ・プランの導入により、期末自己株式数には、日本ハム・グループ従業員持株会専用信託が保有する当社株式を含めております (2024年3月期3Q 205,300株、2023年3月期 313,400株)。また、同信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因によってこれら予想や計画とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書.....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書.....	5
(3) 要約四半期連結包括利益計算書.....	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書.....	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	10
(6) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	11
1. セグメント情報.....	11
2. 非継続事業に関する注記.....	12

※ 当社は、2024年2月1日（木）にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については本日T D n e tで開示するほか、当社ホームページにも掲載いたします。

※ 上記説明会のほかにも、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

業績全般の状況

当第3四半期連結累計期間の売上高は、食肉事業における価格転嫁の浸透や加工事業での価格改定効果に加え、ボールパーク事業において来場者数が順調に推移したことなどにより対前年同期比 3.7%増の 997,957 百万円となりました。事業利益は、食肉事業における販売の伸長や、海外事業において豪州の牛肉事業が好調であったことなど、全セグメントにおいて収益性が改善したことから対前年同期比 68.0%増の 41,545 百万円、税引前四半期利益は、持分法による投資利益が減少したものの事業利益が大幅に増加したことなどから対前年同期比 60.6%増の 43,681 百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は対前年同期比 53.6%増の 29,520 百万円となりました。

セグメントの概況

(単位：百万円)

対前年実績	売上高			事業利益		
	当第3四半期 連結累計期間	前年同期増減	増減率 (%)	当第3四半期 連結累計期間	前年同期増減	増減率 (%)
加工事業本部	329,918	9,098	2.8	8,916	2,914	48.6
食肉事業本部	595,609	25,419	4.5	28,345	5,779	25.6
海外事業本部	219,696	△ 30,918	△ 12.3	2,155	4,825	—
その他	21,506	8,439	64.6	4,387	3,156	256.4

(加工事業本部)

売上高は、主力商品の「シャウエッセン」が回復基調にあることや、デリ商品においてCVS向けを中心とした業務用商品が伸長したことなどから、対前年同期比 2.8%増の 329,918 百万円となりました。事業利益は、「シャウエッセン」やチルドベーカリー群の販売量回復により商品ミックスが改善したことや、原材料価格の高騰に対する価格改定効果などにより、対前年同期比 48.6%増の 8,916 百万円となりました。

(食肉事業本部)

売上高は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う需要増加により外食チャネルの販売が伸長したことに加え、国産鶏肉の相場が堅調に推移したことなどから、対前年同期比 4.5%増の 595,609 百万円となりました。事業利益は、販売会社において主として都市部の量販店向け販売が好調に推移したことや、輸入鶏肉ならびに輸入牛肉の調達見直しにより収益性が改善したことなどから、対前年同期比 25.6%増の 28,345 百万円となりました。

(海外事業本部)

売上高は、トルコの鶏肉事業において飼料高に対する価格転嫁の浸透が進んだものの、BPUの株式譲渡などの影響で、対前年同期比 12.3%減の 219,696 百万円となりました。事業利益は、豪州の牛肉事業における生体牛価格の下落、販売量増加による収益改善に加え、トルコの鶏肉事業が好調に推移したことなどから、2,155 百万円（前年同期は 2,670 百万円の事業損失）となりました。

(その他)

売上高は、ボールパーク事業において、観客動員数が増加したことに加え、シーズン終了後も「エスコンフィールド HOKKAIDO」での秋季キャンプ開催やスタジアムツアーなどにより来場者数が順調に推移したことで、対前年同期比 64.6%増の 21,506 百万円となりました。事業利益は、ボールパーク事業における新たなビジネスモデルにより飲食・グッズ収入などの収益性が大幅に改善したことなどから、対前年同期比 256.4%増の 4,387 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

《財政状態》

当第3四半期末の総資産は、前期末比 2.1%増の 957,219 百万円となりました。流動資産は、BPUの株式譲渡に伴い売却目的保有資産が前期末比 99.6%減の 43 百万円となりましたが、現金及び現金同等物が前期

末比 6.7%増の 69,348 百万円、当第3四半期末日が金融機関の休業日であった影響などにより営業債権及びその他の債権が前期末比 26.0%増の 184,751 百万円となったことなどから、前期末比 2.7%増の 439,517 百万円となりました。非流動資産は、繰延税金資産が前期末比 10.8%減の 27,735 百万円となりましたが、無形資産及びのれんが前期末比 21.1%増の 24,448 百万円となったことで、前期末比 1.7%増の 517,702 百万円となりました。

負債につきましては、相場高と需要回復を受けた仕入の増加などにより営業債務及びその他の債務が前期末比 17.7%増の 124,824 百万円となりましたが、BPU の株式譲渡により売却目的保有資産に直接関連する負債が 11,359 百万円減少したことなどから、前期末比 1.6%減の 427,301 百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分につきましては、現金配当 11,275 百万円などにより減少しましたが、四半期利益 29,520 百万円による増加、円安の進行による在外営業活動体の換算差額 5,891 百万円の増加などにより、前期末比 5.1%増の 518,123 百万円となりました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は 1.5 ポイント増の 54.1%となりました。

《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、営業債権及びその他の債権の増加 37,536 百万円などがありましたが、税引前四半期利益 43,681 百万円、減価償却費及び償却費 29,567 百万円、営業債務及びその他の債務の増加 18,244 百万円などにより、60,543 百万円の純キャッシュ増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産等の取得 33,783 百万円などにより、32,950 百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入債務による調達 41,150 百万円などがありましたが、短期借入金金の減少 28,784 百万円、借入債務の返済 29,303 百万円などにより、27,818 百万円の純キャッシュ減となりました。

これらの結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ 4,362 百万円増加し、69,348 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年3月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日 2024年2月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

将来に関する記述等についてのご注意

この決算短信に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、この決算短信に記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	64,986	69,348
営業債権及びその他の債権	146,660	184,751
棚卸資産	141,930	132,149
生物資産	27,984	26,555
その他の金融資産	9,098	9,032
その他の流動資産	25,171	17,639
売却目的保有資産	12,189	43
流動資産合計	428,018	439,517
非流動資産		
有形固定資産	364,381	367,745
使用権資産	40,898	43,415
生物資産	1,517	1,456
無形資産及びのれん	20,193	24,448
持分法で会計処理されている投資	9,087	8,953
その他の金融資産	27,587	29,328
繰延税金資産	31,082	27,735
その他の非流動資産	14,392	14,622
非流動資産合計	509,137	517,702
資産合計	937,155	957,219
(負債及び資本の部)		
流動負債		
有利子負債	102,199	89,193
営業債務及びその他の債務	106,027	124,824
未払法人所得税	1,795	2,814
その他の金融負債	15,806	12,246
その他の流動負債	41,350	35,971
売却目的保有資産に直接関連する負債	11,359	—
流動負債合計	278,536	265,048
非流動負債		
有利子負債	139,856	145,051
退職給付に係る負債	12,394	12,658
その他の金融負債	1,108	1,163
繰延税金負債	889	1,302
その他の非流動負債	1,591	2,079
非流動負債合計	155,838	162,253
負債合計	434,374	427,301
資本		
資本金	36,294	36,294
資本剰余金	71,095	71,073
利益剰余金	369,389	387,846
自己株式	△ 2,057	△ 1,543
その他の包括利益累計額	17,193	24,453
売却目的保有に分類される処分グループに係るその他の包括利益累計額	999	—
親会社の所有者に帰属する持分	492,913	518,123
非支配持分	9,868	11,795
資本合計	502,781	529,918
負債及び資本合計	937,155	957,219

(注) その他の包括利益累計額の内訳
 その他の包括利益を通じて
 公正価値で測定する金融資産
 在外営業活動体の換算差額

前連結会計年度末

6,469

10,724

当第3四半期連結会計期間

7,838

16,615

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日 ～2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2023年4月1日 ～2023年12月31日)
売上高	962,609	997,957
売上原価	821,926	834,271
販売費及び一般管理費	122,752	126,688
その他の収益	14,122	12,106
その他の費用	8,721	6,180
金融収益	2,016	2,820
金融費用	1,323	2,181
持分法による投資利益	3,181	118
税引前四半期利益	27,206	43,681
法人所得税費用	5,763	12,703
継続事業からの四半期利益	21,443	30,978
非継続事業からの四半期利益(△損失)	△ 1,970	103
四半期利益	19,473	31,081
四半期利益の帰属		
親会社の所有者		
継続事業	21,189	29,417
非継続事業	△ 1,970	103
合計	19,219	29,520
非支配持分		
継続事業	254	1,561
非継続事業	—	—
合計	254	1,561
四半期利益	19,473	31,081

1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	187.70 円	287.80 円
継続事業	206.94 円	286.81 円
非継続事業	△ 19.24 円	0.99 円
希薄化後1株当たり四半期利益	187.68 円	287.80 円
継続事業	206.92 円	286.81 円
非継続事業	△ 19.24 円	0.99 円

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2022年10月1日 ～2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月1日 ～2023年12月31日)
売上高	343,921	345,835
売上原価	295,741	290,018
販売費及び一般管理費	42,110	42,714
その他の収益	4,739	2,540
その他の費用	8,373	3,374
金融収益	1,204	1,070
金融費用	569	1,015
持分法による投資利益(△損失)	535	△ 248
税引前四半期利益	3,606	12,076
法人所得税費用	△ 307	2,877
継続事業からの四半期利益	3,913	9,199
非継続事業からの四半期損失	△ 535	△ 2
四半期利益	3,378	9,197
四半期利益の帰属		
親会社の所有者		
継続事業	4,274	9,538
非継続事業	△ 535	△ 2
合計	3,739	9,536
非支配持分		
継続事業	△ 361	△ 339
非継続事業	—	—
合計	△ 361	△ 339
四半期利益	3,378	9,197

1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	36.51円	92.93円
継続事業	41.73円	92.96円
非継続事業	△ 5.22円	△ 0.03円
希薄化後1株当たり四半期利益	36.51円	92.93円
継続事業	41.73円	92.96円
非継続事業	△ 5.22円	△ 0.03円

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日 ～2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2023年4月1日 ～2023年12月31日)
四半期利益	19,473	31,081
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
確定給付制度の再測定	△ 9	△ 24
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産 持分法適用会社におけるその他の包 括利益に対する持分	△ 2,058	1,663
	—	△ 55
合計	△ 2,067	1,584
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,804	4,395
持分法適用会社におけるその他の包 括利益に対する持分	566	587
合計	6,370	4,982
その他の包括利益合計	4,303	6,566
四半期包括利益	23,776	37,647
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	23,533	35,993
非支配持分	243	1,654
四半期包括利益	23,776	37,647

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2022年10月1日 ～2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月1日 ～2023年12月31日)
四半期利益	3,378	9,197
その他の包括損失		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
確定給付制度の再測定	△ 3	△ 8
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産 持分法適用会社におけるその他の包 括利益に対する持分	1,016	3
	—	3
合計	1,013	△ 2
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 6,284	△ 3,171
持分法適用会社におけるその他の包 括利益に対する持分	△ 841	△ 454
合計	△ 7,125	△ 3,625
その他の包括損失合計	△ 6,112	△ 3,627
四半期包括利益（△損失）	△ 2,734	5,570
四半期包括利益（△損失）の帰属		
親会社の所有者	△ 2,218	5,968
非支配持分	△ 516	△ 398
四半期包括利益（△損失）	△ 2,734	5,570

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	小計			
2022年4月1日残高	36,294	71,272	360,900	△ 2,856	—	9,639	3,820	13,459	479,069	10,485	489,554
四半期利益			19,219					—	19,219	254	19,473
その他の包括利益					△ 9	△ 2,059	6,382	4,314	4,314	△ 11	4,303
四半期包括利益	—	—	19,219	—	△ 9	△ 2,059	6,382	4,314	23,533	243	23,776
配当			△ 10,437					—	△ 10,437	△ 11	△ 10,448
自己株式の取得				△ 2				—	△ 2		△ 2
自己株式の処分		△ 139		603				—	464		464
株式報酬取引		42						—	42		42
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替			1,211		9	△ 1,220		△ 1,211	—		—
所有者との取引額等合計	—	△ 97	△ 9,226	601	9	△ 1,220	—	△ 1,211	△ 9,933	△ 11	△ 9,944
2022年12月31日残高	36,294	71,175	370,893	△ 2,255	—	6,360	10,202	16,562	492,669	10,717	503,386

当第3四半期連結累計期間 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分										非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				売却目的保有に分類される処分グループに係るその他の包括利益累計額	合計		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	小計				
2023年4月1日残高	36,294	71,095	369,389	△ 2,057	—	6,469	10,724	17,193	999	492,913	9,868	502,781
四半期利益			29,520					—		29,520	1,561	31,081
その他の包括利益					△ 24	1,605	5,891	7,472	△ 999	6,473	93	6,566
四半期包括利益	—	—	29,520	—	△ 24	1,605	5,891	7,472	△ 999	35,993	1,654	37,647
配当			△ 11,275					—		△ 11,275	△ 50	△ 11,325
自己株式の取得				△ 4				—		△ 4		△ 4
自己株式の処分		△ 38		518				—		480		480
株式報酬取引		16						—		16		16
子会社の売却								—		—	323	323
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替			212		24	△ 236		△ 212	—	—		—
所有者との取引額等合計	—	△ 22	△ 11,063	514	24	△ 236	—	△ 212	—	△ 10,783	273	△ 10,510
2023年12月31日残高	36,294	71,073	387,846	△ 1,543	—	7,838	16,615	24,453	—	518,123	11,795	529,918

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日 ～2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2023年4月1日 ～2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	27,206	43,681
非継続事業からの税引前四半期利益(△損失)	△ 2,440	224
減価償却費及び償却費	28,352	29,567
減損損失及びその戻入益	△ 1,594	655
生物資産の公正価値変動額	322	△ 359
金融収益及び金融費用	△ 608	△ 507
事業の売却損益	478	△ 1,101
営業債権及びその他の債権の増減	△ 60,835	△ 37,536
棚卸資産の増減	△ 27,464	11,179
生物資産の増減	856	2,434
その他の資産の増減	△ 4,974	2,340
営業債務及びその他の債務の増減	24,231	18,244
その他の負債の増減	△ 3,575	△ 4,630
その他—純額	△ 2,576	△ 1,902
利息の受取額	1,094	2,163
配当金の受取額	6,208	1,295
利息の支払額	△ 1,111	△ 1,570
法人所得税の支払額	△ 13,324	△ 3,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 29,754	60,543
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産等の取得	△ 46,045	△ 33,783
固定資産等の売却	1,184	645
定期預金の増減	△ 213	△ 753
その他の金融資産の取得	△ 53	△ 50
その他の金融資産の売却及び償還	4,601	622
短期貸付金の増減	8,694	—
政府補助金による収入	932	2,525
事業の売却に伴う収入	3,626	—
事業の売却に伴う支出	△ 3,166	△ 1,345
その他—純額	△ 492	△ 811
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 30,932	△ 32,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
現金配当	△ 10,448	△ 11,325
短期借入金金の増減	12,807	△ 28,784
借入債務による調達	106,468	41,150
借入債務の返済	△ 71,305	△ 29,303
自己株式の取得	△ 2	△ 4
自己株式の売却	436	448
その他—純額	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	37,956	△ 27,818
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	1,753	2,736
超インフレの調整	978	1,042
売却目的保有資産に含まれる現金及び現金同等物の増減額	—	809
現金及び現金同等物の増減額	△ 19,999	4,362
期首現金及び現金同等物残高	85,374	64,986
四半期末現金及び現金同等物残高	65,375	69,348

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

報告セグメントに関する情報

当社グループは、主として商品及び提供するサービスの性質に加えて販売又はサービスを提供する地域に応じて以下の3つの報告セグメントに区分し、経営管理を行っております。

- 加工事業本部 — 主に国内におけるハム・ソーセージ、加工食品、乳製品の製造・販売
 食肉事業本部 — 主に国内における食肉の生産・販売
 海外事業本部 — 主に海外子会社におけるハム・ソーセージ、加工食品及び食肉の生産・製造・販売

当社は、前第4四半期連結会計期間においてBPUに関連する牛肉事業を非継続事業に区分しております。そのため、前第3四半期連結累計期間及び会計期間について組替表示しております。ただし、報告セグメントの海外事業本部には、BPUに関連する非継続事業を含めて表示しております。

なお、当社グループは当社及び子会社65社、関連会社7社で構成されております。

前第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）

（単位：百万円）

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	その他	計	消去 調整他	連結 (非継続事業調整前)	非継続事業 へ振替	連結 (非継続事業調整後)
売上高									
外部顧客に対する売上高	299,792	519,574	144,128	10,659	974,153	11,950	986,103	△ 23,494	962,609
セグメント間の内部売上高	21,028	50,616	106,486	2,408	180,538	△ 180,538	—	—	—
計	320,820	570,190	250,614	13,067	1,154,691	△ 168,588	986,103	△ 23,494	962,609
セグメント利益(△損失)	6,002	22,566	△ 2,670	1,231	27,129	△ 2,404	24,725	2,037	26,762

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）

（単位：百万円）

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	その他	計	消去 調整他	連結 (非継続事業調整前)	非継続事業 へ振替	連結 (非継続事業調整後)
売上高									
外部顧客に対する売上高	307,335	549,258	131,217	19,038	1,006,848	1,732	1,008,580	△ 10,623	997,957
セグメント間の内部売上高	22,583	46,351	88,479	2,468	159,881	△ 159,881	—	—	—
計	329,918	595,609	219,696	21,506	1,166,729	△ 158,149	1,008,580	△ 10,623	997,957
セグメント利益	8,916	28,345	2,155	4,387	43,803	△ 2,258	41,545	950	42,495

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ボールパーク事業及び新規事業であります。ボールパーク事業においては、プロ野球球団・プロ野球球場の運営を行っております。
2. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去他が含まれております。
3. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。
4. 「セグメント利益(△損失)」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出してしております。
5. 海外事業本部に含まれるBPUの売上高、損益等を「非継続事業へ振替」において組替えを行っております。

前第3四半期連結会計期間 (2022年10月1日～2022年12月31日)

(単位：百万円)

	加工事業	食肉事業	海外事業	その他	計	消去 調整他	連結	非継続事業	連結
	本部	本部	本部				(非継続事業調整前)	へ振替	(非継続事業調整後)
売上高									
外部顧客に対する売上高	108,970	189,428	47,335	1,760	347,493	4,586	352,079	△ 8,158	343,921
セグメント間の内部売上高	7,831	19,110	33,931	769	61,641	△ 61,641	—	—	—
計	116,801	208,538	81,266	2,529	409,134	△ 57,055	352,079	△ 8,158	343,921
セグメント利益 (△損失)	4,668	8,346	△ 1,734	△ 697	10,583	△ 1,062	9,521	652	10,173

当第3四半期連結会計期間 (2023年10月1日～2023年12月31日)

(単位：百万円)

	加工事業	食肉事業	海外事業	その他	計	消去 調整他	連結	非継続事業	連結
	本部	本部	本部				(非継続事業調整前)	へ振替	(非継続事業調整後)
売上高									
外部顧客に対する売上高	110,685	194,261	39,199	2,285	346,430	△ 595	345,835	—	345,835
セグメント間の内部売上高	8,295	15,280	30,297	716	54,588	△ 54,588	—	—	—
計	118,980	209,541	69,496	3,001	401,018	△ 55,183	345,835	—	345,835
セグメント利益 (△損失)	6,010	11,316	1,950	△ 1,890	17,386	△ 804	16,582	22	16,604

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ボールパーク事業及び新規事業であります。ボールパーク事業においては、プロ野球球団・プロ野球球場の運営を行っております。
2. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去他が含まれております。
3. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。
4. 「セグメント利益(△損失)」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。
5. 海外事業本部に含まれるBPUの売上高、損益等を「非継続事業へ振替」において組替えを行っております。

2. 非継続事業に関する注記

① マリンフーズ株式会社の株式譲渡について

1) 非継続事業の概要

当社は、2022年2月9日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるマリンフーズ株式会社(以下、「マリンフーズ」)の全株式及び関連する資産を、双日株式会社に譲渡することを決議し、2022年3月31日に株式譲渡が完了いたしました。

これにより、前々第4四半期連結会計期間よりマリンフーズに関連する水産事業を非継続事業に分類しております。

2) 子会社の名称、事業内容及び当該子会社が含まれていたセグメントの名称

子会社の名称	マリンフーズ株式会社
事業内容	水産加工食品の製造販売及び水産原料の輸入販売
セグメントの名称	加工事業本部

3) 売却した株式の数、売却後の持分比率

売却前の所有株式数	22,666,000株 (議決権の数：22,666,000個) (議決権所有割合：100.0%)
売却した株式数	22,666,000株 (議決権の数：22,666,000個)
売却後の持分比率	—株 (議決権の数：—個) (議決権所有割合：—%)

4) 非継続事業からの損益

非継続事業からの損益は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日 ～2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2023年4月1日 ～2023年12月31日)
売上高	—	—
事業の売却損益(注)	△ 408	—
その他の損益	—	—
非継続事業からの税引前四半期損失	△ 408	—
法人所得税費用	87	—
非継続事業からの四半期損失	△ 321	—

(注) 前第3四半期連結累計期間において非継続事業に分類された事業の売却損益は、マリンフーズの株式譲渡契約に基づく同社株式の譲渡価額の調整によるものであります。

② BPUの株式譲渡について

1) 非継続事業の概要

当社は、2023年1月31日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるBPUの全株式を、Minerva S.A. に譲渡することを決議し、2023年8月31日に株式譲渡が完了いたしました。

これにより、前第4四半期連結会計期間よりBPUに関連する牛肉事業を非継続事業に分類しております。

2) 子会社の名称、事業内容及び当該子会社が含まれていたセグメントの名称

子会社の名称	Breeders & Packers Uruguay S.A.
事業内容	食肉処理及び販売(牛肉)
セグメントの名称	海外事業本部

3) 売却した株式の数、売却後の持分比率

売却前の所有株式数	1,797,343,133 株 (議決権の数：1,797,343,133 個) (議決権所有割合：100.0%)
売却した株式数	1,797,343,133 株 (議決権の数：1,797,343,133 個)
売却後の持分比率	— 株 (議決権の数：— 個) (議決権所有割合：—%)

4) 非継続事業からの損益

非継続事業からの損益は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2022年4月1日 ～2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2023年4月1日 ～2023年12月31日)
売上高	23,494	10,623
非継続事業を構成する処分グループを売却 コスト控除後の公正価値で測定したこと又は 処分したことにより認識した利得	—	1,251
その他の損益	△ 25,526	△ 11,650
非継続事業からの税引前四半期利益(△損失)	△ 2,032	224
法人所得税費用	383	△ 121
非継続事業からの四半期利益(△損失)	△ 1,649	103